

日本生薬学会会員海外派遣助成事業
海外で開催される国際研究集会への参加 [成果報告書] (抜粋)

(B-2)

1. 派遣者

所属 千葉大学 医学薬学府 職名 博士課程3年 氏名 米山 達朗

2. 研究集会名

(欧文名) The 2015 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies
(PACIFICHEM 2015)

(訳文名) 2015 環太平洋国際化学会議

3. 派遣期間

2015年12月14日 ~ 2015年12月20日 (8日間)

4. 国際研究集会の概要とその成果 (併せて600字~800字で記載下さい。)

(概要) The 2015 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (PACIFICHEM 2015) はアメリカ合衆国・ハワイ州において日本、アメリカ、カナダ、ニュージーランド、オーストラリア、韓国、中国の7環太平洋化学会の主催で5年に一度開催される学会である。発表される分野は分析化学、無機化学、高分子、有機化学、物理理論計算、農芸化学、生化学等の11分野にわたり、今大会では6日間の開催期間に17000件を超える演題が発表される大規模な学会であった。

(成果) 発表演題数が多く、興味深いセッションが数多くあったがその中で天然物化学を中心にセッションに参加した。様々な国からの演者の多様な研究発表に触れる事が出来た。また、発表日は最初のセッションが8:00開始、最終セッションが21:00までと、長時間行なわれていたため一日で多くのセッションに参加する事が出来た。セッションの中には演者が質疑応答の際に会場にいた他の先生に質問をするなど和やかな場面もあった。12月17日の10:00から2時間、ポスターセッション [Molecular function of natural products] にて発表を行なった。発表は「Isolation of Notch inhibitors from *Calotropis gigantea*.」というタイトルで、植物のメタノール抽出物からの成分探索、単離化合物の作用機序の検討及び神経幹細胞の分化に対する影響について報告を行った。実験で用いたアッセイ系の構築や試験条件についての指摘や、植物・化合物の活性、さらに Notch シグナル阻害作用によるその他の効果についてディスカッションする事が出来た。大変有意義な時間を過ごす事が出来た。この経験を今後の実験に活かしたいと考えている。

5. キーワード (本研究成果のキーワードを最大6つお書き下さい。)

① Notch シグナル阻害剤 ② 天然物 ③ *Calotropis gigantea* ④ 神経幹細胞分化促進作用

6. 本会からの助成に対する意見・希望等

特になし